

| | |
|--|--------|
| 通信 | 支 部 |
| 同 舟 | |
| No. 19 8月号 8月13日編集発行 | |
| 東京都宅地建物 取引業協会 府中支部 編集兼発行人 高野豊次 | |

八月定例理事会及び
各部会合の模様報告会開催

と き 八月十日午後五時より
と ころ 千葉県犬吠岬ホテル、ニュー大新
出席者 山村、辻、高野、平井、結城、
各理事（石黒、楨崎、小林、内山
田中、各氏欠席）栗山、山岸、
加藤（友）本部各役員

一、協議及び伝達事項

- (1) 各部会の模様報告の件
本部々員、山岸、栗山氏らより委細部会
の模様報告あり、一同これを了承した。
(2) 稲城地区理事補充に関する件
今回稲城地区に於て理事の補充選挙を行
いたる結果、矢ノ口不動産、五島徹夫氏
が当選、本人もこれを受諾した。
(3) 従業者身分証明の件
先に従業者身分証明を各店主に送付す
みであるが未だ写真と同証明を支部へ提出
なきもの約八十名あり、これは業法才十



府中市役所の隣りに紀の国屋不動産株式会社がある。
社長は加藤友三郎君、昭和七年生れといふから本年三十三才将に青年社長である。
府中農業高校出身、取引主任者試験は昭和三十八年の合格である。
根が温厚なところへ所謂、大國、仕込みのベテランであり、良く十人好きする人柄である。
殊に人の統卒力があり、頭の低いのが特徴でこれが又商売繁昌の基となつておるのかもし
れない。
本店は従業者七名、外に京王府中駅前に支店（父政五郎氏采配）があり五人の従業者を擁
しておるので府中の仲間では大業者の一人である。今後の発展を期待して止まない。
尙家庭は円満にして一男あり、以て自重自愛を望む。

一口隨筆

文彦は今度は山の砂防現場を受持つこととなつた。山の砂防とは端的にいふと崩壊した山
肌を石垣をつみ、そしていくつかの階段をもうけて急速に成長する樹木と地肌には芝などを
一面に植え一兩年の短期間に赤禿の山を緑地化する仕事である。

八条ノ二に基き従業者が業務を行ふ場合、
是非とも携行を要すべきものなるにより、
至急写真と身分証明を辻理事迄提出せら
れ度い。
(2) 本部制定看板に関する件
近く配付の見込なるも支部としてはこれ
が経費を負担し難きにつき各自看板代と
して四百円を自弁願うことに決定した。

(附) 犬吠岬懇親旅行記
八月十日午後一時新宿駅に集合したる面々
は理事会に出席する、山村氏外七名と、外
に随伴家族五名、合せて十三名である。
都内を抜け出たジーゼルカーは音も高く一
面の稲穂の中を突走ること三時間余、然し
盛夏を思はせる暑さで楽ではなかつた。
午後四時犬吠岬に新装なつたホテルニュー
大新着、直ちに各自指定された部屋に到着
く。ホテルの窓より見る雄大な太平洋の
波頭!! 流石はしばし涼気満喫更らに附近の
景勝を眺めて始めて気分は最良となつた。
一風呂浴びたのち理事会を開催（別掲）の
ち晚餐に入る唯今回の理事会は少人数の為、
全く家庭的になりたるも歌も出て盛会であ
つた。翌十一日は釣天狗と鹿島香取詣での
二組に別れ午前中を過ぎたが午後一時銚子
発一同無事帰着した。

勿論現場は人里を離れているので仕事には村落よりの通勤はゆるし難く、いきおい山小屋生活を余義なくせしめられる。

尤も山小屋といつても唯雨露をしのぐ程度のものでおそまつな仮設住宅であり殊に食物は米の飯こそあれ、一汁一菜で海魚などほしくてもなく、いきおい谷川の岩魚をとるより外に道がない。それでも文彦は焼岩魚のあの淡白な味に醬油をかけて食べるのが何よりの好物であるので不幸中の幸といふべきである。

それで日中は人夫の一名を岩魚とりに専従せしめ、いつでも小屋には四、五十の焼岩魚が屋根裏にさして貯蔵しある仕末である。夕飯も済みもう八時にもなると、人夫の殆んどは寝につき、たゞ一、二名の者が暗いランプの灯で表紙の破れた古雑誌を読みつゞける風景が見受けられる。

と……その時である小屋の屋根をズズシと何物かが歩く様な気配がしたと思ふとカサカサと屋根裏から毛の生えた手が出たではないか？それがランプの光越に見てまさしく獣の手である。そして屋根裏にさしてある岩魚をとらうとするではないか。

文彦はびつくりとも何ともつかぬ気持ちになり、「コラッ」と大喝一声した。すると又屋根の上をズズシと音がして何ものかが逃げ去つた。勿論その正体が何であるかは不明であるが、翌晩も翌々晩も同じ様な襲来があるので文彦はとうとうたまりかね或晩襲来をたしかめ、闇に鉄砲を一発ぶちやなした。勿論実弾をこめてであるそれはたしかに手ごたえがあつたので翌朝屋根の上を調べて見ると、二十キロもあらうかと思ふ一匹狼が血にまみれて死んでいた。その日は狼の肉が御馳走になつたが余りうまいものでなく、流石の人夫達も顔を見合せて食べていた。

消息

○本年六月施行の宅地建物取引主任者資格試験に当支部としては左の者が合格した。

高野不動産勤務 齊 藤 実
紀ノ国屋支店勤務 井 本 ミドリ
南進開発勤務 芦 川 正 吉

○府中不動産（代表 高橋耕徳）は今回左記の通り業者免許を得た。

免許番号 (1) 一〇一五
免許年月日 四〇〇年七月二十六日

○解 雇

丸山不動産勤務竹本治男は不都合の廉により今般解雇したる旨店主より報告あり

編集後記

○銚子大吠岬の理事会を終へ帰宅、早速、同舟、才十九号の編集に当る。

○この八月理事会は銚子へ出張した勢いか出席者が少人数だつたのは遺憾である、然し本部の網紀部員山岸正治君、組織部員の加藤友三郎君、相談部の栗山新之助さんが出席し、色々部会の模様を話ししてくれたので有益であつた。

○理事乃至本部々員は組合員を代表してあるので努めて会議には出席してほしいものである。

○同舟も来る九月を以て才廿号となる従つて廿号発行を記念して多数原稿を募集したい。それが批評、意見、隨筆、短歌、なんでもよい。振つて組合員の御応募を願う次才。

○業界も茲当分は好況を望み難きとするのが當つてある。然しなんとかお互い歯をくいしばつて頑張らなければならぬ。涼風の秋はもう目前に迫つてゐる。

昭和四十年八月十一日

高野 生